

ごあいさつ

桃栗三年柿八年・・・

～第8期を振り返って～

特定非営利活動法人シーズ加古川
理事長 田中 茂

昨年度事業を進める中で、二つの言葉に出会いました。「エンパワーメント」と「自律」です。

エンパワーメント (empowerment) とは、「個人が自分自身の力で問題や課題を解決していくことができる社会的技術や能力を獲得すること」であり、自律とは、「他からの支配・制約などを受けずに、自分自身で立てた規範に従って行動すること」と定義されています。

当法人の理念である「市民セクターの確立」とは、このエンパワーメントを持った自律した市民が多い社会をつくり上げることだと考えます。

成熟化し、多様化する現代社会においては、さまざまな価値観が生まれ、いろいろな問題や課題が発生します。それを人任せにせず、自らの意思で解決しようとすることは、私が普段口にする「まちは、お上が作るものではなく、我々が創るもの」と同じ意味だと言えるでしょう。

さて、この第8期が、当法人にとって非常に重要な節目の年であったことは言うまでもありません。東播磨生活創造センター「かこむ」の指定管理者としての運営や「生きがいしごとサポートセンター事業」等、多くの新規事業をスタートさせ、法人規模も飛躍的に拡大しました。しかしながら、決して法人規模を大きくしたいとは思っているわけではありません。むしろ、激変する社会ニーズの変化に機敏に対応するには、コンパクトな方が良いかもしれません。行政からの委託事業や補助事業が多く、財政基盤の安定化が急務なことも認識しています。しかし、法人の理念遂行の観点から大きくぶれないよう十二分に意識しながら活動する中で、徐々にではありますが、法人独自の事業展開の芽も育ちつつあり、自発的で主体的な職員も育ちつつあります。

また、法人本来の理念である「自律した市民セクターの確立」に向けて本格的に始動するために、本年度の途中から、これまでの「しごと支援チーム」を「ひとづくりチーム」に、「まちづくり支援チーム」を「まちづくりチーム」に名称変更し、より法人の理念に沿った組織体制と呼称にしました。「まちづくり」はより地域に密着した地道な活動を、「ひとづくり」はその基礎となる自律したひとの育成を目指します。

昨年度の終了で、設立して8年が経ちました。

桃栗三年柿八年

味が出てくるシーズ加古川を目指して・・・

平成 21 年度 事業の成果

はじめに

成果の可視化を意識して

「市民セクターの確立」、このとてつもなく大きな法人理念に明確なゴールはありません。まして、その「成果を可視化」する事は極めて難しいと言わざるを得ません。しかし、ただ漠然と年月を積み重ねることには抵抗があります。だとすれば、少なくとも「成果の可視化を意識する」ことにしようと思います。この意識の積み重ねが、将来分かりやすい形での「成果の可視化」につながると思うからです。

一方、現下の状況で、平成 22 年 4 月より、私達の長い働きかけの甲斐あって、兵庫県内の NPO 法人の事業報告書等がホームページで閲覧できるようになりました。NPO 法が元来意図する「情報公開をし、広く市民に支えられ・・・」云々が徐々に具現化し、一般化されつつあるわけです。今後、NPO 法人の情報公開の重要性がますます増していき、公開方法の是非が法人の生命線になっていくのではないかと考えられます。

これらのことを踏まえ、昨年度より本格的に作り始めたこの活動報告書（今年度より「年次報告書」に呼称変更）においても、「成果の可視化」を意識して作成しました。

1. 自律したひとづくりに向けて

今年 5 月より「生きがいしごとサポートセンター播磨東事業」を開始し、それに伴い 10 月からは無料職業紹介事業も開始しました。これに平成 17 年度より行っている「若者しごと倶楽部サテライト播磨運営事業」を加えたいわゆる「就労支援事業」を通じて、自律したひとづくりの基礎となる社会参画への支援を全年代に対応して実施しました。無料職業紹介事業の相乗効果が大きく、特に若者の就労支援に大きな効果が生まれました。

就労支援に関する相談業務の具体的な件数は、1,363 件となっており、内訳は若者しごと倶楽部サテライト播磨が 700 件、生きがいしごとサポートセンター播磨東が 663 件となっています。ちなみに、就職決定者数は 65 名で、これは社会参画を促したという点での成果と言えます。

若者しごと倶楽部登録者 井上勇人さんからのコメント

若者しごと倶楽部サテライト播磨に就職相談に行っていました。そこで先ず、ボランティアに誘われました。「キッズシェフ」という子ども達にイタリア料理のフルコースの作り方を教える企画でしたが、それがきっかけで、そのイタリア料理店の面接を受けることになり、就職できました。大変厳しい職場ですが、やりがいを持って働くことができ、幸せです。



また、職員の就労相談に対するスキルアップを図ることができたこと、登録者の状況に合わせた個別プログラムを組むシステム（事業報告実施に関する事項、特定非営利活動に関する事業Ⅱ-1 参照）を考案できたことが法人内での大きな成果です。

さらに、「自律」をキーワードに就労を考え、次年度の「ひとづくりチーム」の方向性として「リテンション（働き続けること）」と「リテンション・マネジメント（雇用し続けること）」をコンセプト

トに据えることになったことも大きな成果と言えます。

就労支援に関連して、中間労働としてのボランティアの重要性を考えた上での「ボランティア・バンク構想」、生活創造支援に関連して「アーティスト・バンク構想」や「人材バンク構想」も動き始めています。

ほとんどの事象が、まだ法人内の成果に留まっていますが、これが徐々に自律したひとづくりへとつながっていくものと確信しています。

II. 自律した市民活動団体等への支援に向けて

法人の基幹業務である相談業務も増加しています。法人全体としての相談対応件数は、下表のとおりです。相談の数だけ支援ができたと考えています。

相談内容	件数
起業相談	127件
運営相談	361件
就労相談	1363件
コーディネート	128件

相談業務の中で今年度特徴的だったことは、障害者自立支援法に基づく小規模作業所の就労支援型施設への移行相談と、それに伴う運営相談が多かったことです。当法人に小規模作業所の立ち上げから運営に長きに亘って携わった職員がいる強みから、相談スキルも充実しており、障害者施設の運営団体への支援は大きな成果を上げています。

NPO法人なごみ 理事長 遠藤康亮さんからのコメント

NPO 法人の設立以前から、作業所の運営などについてもご指導いただいています。また、精神科の先生とつながりいただき、「なごみ」にとって大切なパートナーを得ることができました。本当に親身になって相談に乗っていただけなので大変助かっています。これからもよろしくお願いします。



また、起業相談では、結果として6件の法人設立のお手伝いをしました。法人形態は、いずれも NPO 法人となりました。いずれの法人も早く基盤を安定させ、それぞれの熱い想いの実現に向かって走り始めています。これらの仲間と共に自律した市民セクターの充実を図っていきたいと思います。

NPO法人子育てサポート★きらりing 理事長 石堂美紀子さんからのコメント

子育て支援の仕事始めて16年が過ぎ、当時支援を受けていた母親が、その後現役の母親を支援する側にまわるようになり、私たちはより充実した活動をするために、NPO 法人を設立することにしました。熱い思いはあるものの、用語すらわからない中で設立に向け途方に迷っていました。



そんな時、NPO 法人シーズ加古川さんにお世話になり、設立・運営に至るまで細かく丁寧にアドバイスを受けました。定款作成についても、私たちのやりたいことをしっかり受け止めて、じっくり聞いてくださり、悩みながらも、文章にすることにより、自分たちが活動の意義をメンバーみんなが理解できるようになりました。そして、何よりうれしかったことは、人と人のつながりをつくっていただき、その大切さ、素晴らしさを実感できた事です。これは、私ども法人の大きな財産となっていくと確信しました。

次に、企業との連携事業等で、当法人がコーディネートして地元ショッピングセンター等で出演、参加いただいたグループやアーティストが、今までに活動したことがない場所での活動や新しいお客様へのサービス提供等で、大きくスキルアップしていただいたことも大きな成果です。特に、「はまのみや児童文庫」さんは、これまで公民館での活動にとどまっていたのですが、この事業がきっかけで外へ出るようになり、今では加古川市の海洋文化センターでのお話会の開催をボランティアで引き受けるようになりました。

「はまのみや児童文庫」代表 榎本恵子さんからのコメント

昨年 12 月グリーンモールの自主事業「わかば・つぼみ」のイベント参加は、おはなし会以外の、初めての試みでした。クリスマス飾りを、文庫の子どもたちに手作りにした経験が、このイベントに取り組む原動力になりました。当日、文庫 OB の応援も頂き、75 名の子どもたちと交流でき、元気を貰いました。これからも、子どもたちに絵本の楽しさを伝えると共に、楽しい交流ができればと願っています。



また、東播磨生活創造センター「かこむ」の指定管理事業関連では、先ず、「かこむ」登録団体を中心とした参加型自主企画講座の「あなたが創る★かこむ講座」は、まさにグループのスキルアップを図る企画としてマスコミにも取り上げられ、大きな評価と確実な成果を残しました。特に、「川柳ニューサロン」さんが企画、開催した「川柳はじめのはじめ」では、その講座を受講したメンバーが新しいグループを作り、活動を始めるというとてもうれしい展開がありました。

「虹の会」代表 福原幸雄さんからのコメント

「かこむ」であった川柳のセミナーに参加したことがきっかけで、そのセミナーの受講者で「虹の会」と言うグループを作りました。今も蛭原先生を講師として招き、ご指導を得て、みんなで川柳を楽しんでいます。きっかけは「かこむ」です。



次に、「生活創造フェスタ」や「ジャズフェスティバル」等のビッグイベントを当法人職員が全て企画・運営するのではなく、実行委員会組織を作って実施したことは、自主・自発的な活動を促す意味でも大きな成果だと言えます。

最後に、兵庫大学との連携で始めた「東播磨市民活動カルテ作りプロジェクト」は、地域の市民活動の歴史を残す一大プロジェクトで、市民活動団体の活動報告書やイベントチラシ等の発行物を残しているというものです。これはエンドレスの事業となりますが、100 年後、200 年後に成果の出る事業と考え、多くの資料を集め、歴史を創っていきたくて考えています。

兵庫大学学生からのコメント

- ファイル作成を通して私自身、地域の活動を知る機会を得る事が出来ました。緊張することも多かったですが、地域で活動されている方々とお話することができ、地域活動への関心が高まりました。(2 回生 中田陽香)
- 地域活動の多さにとても驚きました。その活動を沢山の人も知って欲しいと思いました。(2 回生 松下菜美)
- ゼロから作ったファイル。大変なことも多かったのですがその分、沢山の喜びがありました。充実感でいっぱいです。(2 回生 小西貫大)
- 今回は貴重な経験が出来、感謝しております。このプロジェクトが市民活動の発展につながることを願っています。(2 回生 長友皓)



平成 21 年度 事業実施に関する事項

■ 全体総括

お陰さまで NPO 法人シーズ加古川が発足して 8 年が経ち、これまで多くの皆さまと出会い、叱咤激励をいただきました。それを糧に「市民セクターを確立する」という理念に向かって、これまで事業を継続させることができました。心からお礼申し上げます。

今年度は下記に示すように多くの新規事業が始まり、法人としての活動領域が広がった 1 年でした。

- ◎ 東播磨生活創造センター「かこむ」の指定管理者（21～23 年度）に選定され、その運営を開始しました。
- ◎ 兵庫県の補助事業「生きがいしごとサポートセンター播磨東」の運営を 5 月から開始し、コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスのサポートを行いました。さらに 10 月からは厚生労働省の認可を得て「無料職業紹介事業」を開始しました。
- ◎ 兵庫県の委託事業「ふるさとコミュニティ・ビジネス創出支援事業～淡路地域～」を開始しました。これにより、コミュニティ・ビジネスの創出を支援し、淡路地域の活性化に取り組みました。
- ◎ 法人のホームページ及びリーフレット等を更新し、活動報告や会計報告等を公開しました。責任ある NPO 法人として情報公開の体制を整備しつつあります。また、その手始めとして、これまで支援していただいた方々や関係者各位の皆さまに、法人として初の試みである活動報告会（5 月 31 日）を開催しました。

上記に示した事業など急激な活動拡大に伴い、責任ある NPO 法人として組織を整備し新体制作りを力を注ぎました。特に上半期は会計処理や労務体制を整備し、職員研修に重点を置きました。その結果として法人本来の事業展開がスピードダウンしてしまったことは否定できません。

しかし、下半期には徐々に職員の能力が向上し、個々の個性と能力を活かして「市民セクター」の確立に向けた事業体制が出来ました。

新しい事業体制は東播磨生活創造センター「かこむ」の運営事業を中心にした「まちづくり支援チーム」と加古川産業会館内の「生きがいしごとサポートセンター播磨東」と「若者しごと倶楽部サテライト播磨」の運営を中心とした「しごと支援チーム」の 2 つの体制としました。「まちづくり支援チーム」では市民活動団体や地元アーティスト等の活動を支援（企業への紹介など）するコーディネート事業が拡大しました。「しごと支援チーム」では無料職業紹介事業を開始したことにより、若者しごと倶楽部サテライト播磨の事業内容を見直し、相談業務の質向上を図りました。

このように今年度は法人としての理念である自律した「市民セクターの確立」に向け、法人の基盤整備、特に法人内の「ひとつづくり」を行った 1 年でした。新年度はこの成果を踏まえ「まちづくり支援チーム」を「まちづくりチーム」に、「しごと支援チーム」を「ひとつづくりチーム」と改め、より一層活動を活発に展開していきたいと考えます。

以上が平成 21 年度の全体総括です。詳細については、次頁からの各事業別の報告をご参照ください。

■ 特定非営利活動に関する事業

Ⅰ. 市民活動を行う個人又は団体に対して、活動を活性化するための支援事業

平成21年度の大きな展開としては、情報収集・発信事業として、地元で活動するアーティストを企業にコーディネートするという事業を積極的に展開したことで、様々な企業との連携を図ることができたことが挙げられます。企業側からは「地元の市民に支えられた事業展開ができる」という声を、団体側からは「活動の機会が増え、幅が広がった」等の声をいただくことができました。

また、淡路地域のコミュニティ・ビジネス創出の支援を5月から開始したことで、当法人の活動エリアが加古川をはじめとする東播磨地域だけではなく、淡路地域まで広がったことも大きな展開のひとつです。しかしながら、今までにネットワークのなかった淡路地域でコミュニティ・ビジネスを創出支援するという事は容易ではなく、今年度は情報収集を中心にネットワークづくりを進めることに留まりました。

1. コンサルティング事業

① 事務局代行事業

内 容 各団体の苦手とする事務部分の代行を行うことにより、各団体の事務的な負担を軽減するとともに、事務部分の相談業務を通して各団体のスキルアップを図った。

支援団体・支援内容

団体名	内 容
NPO法人加古川に桜を1万本植える会	平成20年度事業報告・決算報告について
NPO法人ぐるーぶ架け橋創合文化村	平成20年度事業報告・決算報告について
青少年のための科学の祭典・東はりま会場実行委員会	青少年科学の祭典2009開催にともなう広報物作成

② 出張講師事業

内 容 役員及び職員が講師やアドバイザーとして、外部依頼機関等へ出張することによって、講義や助言等を行った。

実施日・依頼機関・講義内容・派遣者名

実施日	依頼機関	内 容	派遣者名
5月30日	平岡町東地区町内会連合会	町内会のお世話役としての心得	鍛冶秀郎
6月2日	嬉野台生涯教育センター	生涯大学講座「起業（新たなしごとづくり）」	柏木登起
6月16日	嬉野台生涯教育センター	生涯大学講座「起業（新たなしごとづくり）」	柏木登起
9月2日	嬉野台生涯教育センター	参画と協働の地域づくり（NPO法人設立入門講座）	柏木登起
11月18日	公衆歯科栄養士研究会	人と人のふれあい『一心の微を尽くす生き方』	鍋田年康
11月24日	加古川市社会福祉協議会	ボランティアセンター登録団体代表者のためのマインドマッピング講座	田中 茂
1月16日	阪神工業株式会社	私が歩んだ『風土づくり・サービスいちばん店をめざして』の道	鍋田年康
1月26日	いなみ野学園日岡 OB 会	楽しみを生きがいに 生きがいを“しごと”に	柏木登起
3月13日	加古川市社会福祉協議会	聴覚障害者及び聴覚障害者支援団体のためのマインドマッピング講座	田中 茂

③ 小規模作業所移行研修事業

内 容 兵庫県障害者支援課からの補助事業として、東播磨地域の障害者小規模作業所が障害者自立支援法の新体系へ移行するための研修会等を開催した。

実施日・支援団体内容・派遣者名

実施日	支援団体
12月12日	NPO法人高砂ワークハウスつばさ、NPO法人すぎなの会、小規模作業所ビオトープ大国
1月13日	小規模作業所なかよし作業所
1月18日	小規模作業所ふれあいポケット
2月12日	NPO法人ビオラ
3月13日	NPO法人タンポポ福祉会

2. 情報収集・発信事業

① 地元FM「BAN-BANラジオ」との連携事業

内 容 BAN-BANラジオの番組「Town-Beat」において、地元で活躍するアーティストの活動情報を発信し、アーティストの活動支援を行った。

実施日 毎週金曜日 19時30分～21時

紹介数 306件 放送回数51回

② ニッケレポスとの連携事業

内 容 BAN-BANラジオとニッケレポスの共同番組「レポREPOスタジオ」に音楽活動を行う団体をコーディネートすることによって、地元で音楽活動を行う団体の活動情報を発信し、団体のPRにつなげた。

実施場所 ニッケレポス センターコート（加古川市加古川町）

実施日・コーディネート団体

実施日	団体名	実施日	団体名
4月25日	ミューア、アンサンブル・ムジーク	10月24日	Mon Dieu、音楽の感ジュニア合奏団
5月23日	新型インフルエンザ流行のため中止	11月28日	サタデーナイトプチプチギャング、のぞみ保育園
6月27日	井波陽子（コーラス：コトリ木）、松谷優希	12月26日	アオトキブカ、ヒトミスタジオ
7月25日	ジョイフルゴスペルワーク、加古川弦楽ジュニア合奏団	1月23日	ニッケレポスの都合により中止
8月22日	大石隼輔、丸山ピアノ教室	2月27日	ヘルマンハーブアンサンブルローゼ、すみれキンダーガーデン
9月26日	トキ、Music company"Angel"	3月27日	林隆平&黒田浩平、加古川シティオペラジュニアチェルキオ



③ グリーンモールとの連携事業

内 容 加古川市別府町にあるショッピングモール「グリーンモール」で、月1～2回開催されるイベントに地元の市民活動団体をコーディネートした。これにより、企業が地域密着型で活動することへの支援と、市民活動団体の活動の拡充支援へとつなげた。

実施場所 グリーンモール加古川（加古川市別府町）



実施日・コーディネート団体

実施日	団体名	実施日	団体名
6月20日	NPO法人ぐるーぷ架け橋創合文化村	11月23日	柳川おし花教室
7月25日	あけぼの会	12月12日	はまのみや児童文庫
8月12日	ひまわり	1月8日	あけぼの会、加古川風の会
8月13日	みずばしょう	～13日	NPO法人ぐるーぷ架け橋創合文化村
8月14日	じゃんけんぼん	1月24日	アトリエ スマイリングハート
9月19日	人花心のグループ	2月12日	ひまわり
10月25日	灯りゃんせ実行委員会	3月27日	アンサンブル・ムジーク

④北はりまステーションの運営

内 容 北播磨地域の情報発信を行うことを目的に、NPO法人北播磨市民活動支援センターとの協働事業として、北播磨地域の地産物の販売を行うステーションを運営する事業を平成20年11月より実施している。平成21年4月1ヶ月間は連携体制で実施したが、業務の効率化を図るため、5月よりNPO法人北播磨市民活動支援センター単独で営業することになった。

実施場所 ベルデモール商店街内

実施日 毎週水・木・金・土曜日 10時30分～16時30分

3. 調査研究・政策提言

① NPO法人会計基準策定プロジェクトへの参加

NPO法人への信頼性やアカウンタビリティ（説明責任）の向上がますます重要な課題となってきた中、全国のNPO支援センター76団体（平成22年2月2日現在）などからなる「NPO法人会計基準協議会」と、公認会計士ら専門家からなる「NPO法人会計基準策定委員会」が立ち上がり、NPO法人会計基準策定プロジェクトがスタートしている。当法人も「NPO法人会計基準協議会」の一員として参加し、NPO法人の会計基準策定に向けて、情報収集と発信を行った。※兵庫県内における他の構成団体は、NPO法人市民活動センター神戸、NPO会計支援センターの2団体。

② NPOと行政との協働会議への参加

内 容 平成11年度にスタートしたNPO部会と行政部会が市民活動に関する様々な提案を議論し、有効な施策づくりに反映させるための「NPOと行政の協働会議」（事務局：ひょうごボランティアプラザ）に毎回参加した。

実施場所 ひょうごボランティアプラザ セミナールーム

開催日・内容・出席者

開催日	内 容	出席者	開催日	内 容	出席者
6月26日	第1回全体会	田中 茂	11月20日	第3回全体会	田中 茂
9月4日	第2回全体会	柏木登起	2月1日	第4回全体会	田中 茂
10月20日	中間支援部会	田中 茂	3月18日	総括会議（フォーラム）	田中 茂

4. ふるさとコミュニティ・ビジネス創出支援事業～淡路～（兵庫県委託事業）

① アドバイザー派遣事業

内 容 各団体が抱える課題やニーズに対して、どのような支援策が必要であるかを検討し、当法人のスタッフまたはコミュニティ・ビジネスに関するアドバイザーを要望に応じて派遣した。

開催日・内容・出席者

実施日	派遣場所	アドバイザー名	アドバイス内容
12月21日	財団法人五色ふるさと振興公社	細尾勝博	町全体の活性化プロジェクト
1月5日	NPO法人ファミリーサポートセンターまあるく	石田信隆	労務管理の方法
3月12日	NPO法人キッズアイランド淡路島	畑中亜希子	既事業の運営とその在り方
3月19日	NPO法人淡路島アートセンター・ノマド村	相澤久美	法人形態（LLP）

② コミュニティ・ビジネス普及啓発冊子の作成と配布

内 容 コミュニティ・ビジネスを広く淡路島に定着させていくため、初心者向けのコミュニティ・ビジネス普及啓発チラシと当該事業紹介チラシ、コミュニティ・ビジネスを支援する側向けのコーチングマニュアルを作成し、配布した。

作成物と部数

作成物名	部数
事業紹介用チラシ	4,000部
コミュニティ・ビジネス普及啓発チラシ	5,000部
コミュニティ・ビジネスコーチングマニュアル	300部

II. 若者の市民社会への参加を推進し、そのために必要な支援を行う事業

平成18年から開始した若者しごと倶楽部サテライト播磨運営事業は、平成21年度で丸4年が経ちました。今年度は、日々の相談業務こそ最も力を入れるべき支援メニューであるとの基本に立ち返り、窓口相談における職員の相談スキルの向上に注力しました。加えて、開設以降、登録者数は増加しているものの、登録するだけにとどまっていた具体的な支援に結び付いていないケースも多かったことから、今年度は登録者全員のカルテを整理し直し、状況に応じて6段階に分析しました。これにより、相談者の状況や段階に応じたサポートを行う体制を整備することができたことが、今年度の一番大きな成果です。

また、10月から生きがいしごとサポートセンター播磨東において、無料職業紹介事業をスタートさせたことによって、登録者へ具体的な職業を紹介することが可能となりました。以上のようなことから、平成20年度の就職決定者数は26名でしたが、今年度は55名という大幅な増加につなげることができました。

1. 若者しごと倶楽部サテライト播磨の運営事業（兵庫県委託事業）

① 情報提供事業

内 容 登録している相談者へ若者しごと倶楽部や関係機関の事業内容や就職に役立つ情報を提供するため、イベントカレンダーや若者しごと倶楽部サテライト播磨通信を作成し、定期的に郵送した。

実施日 毎月1回

送 数 毎月約170通発送 年間総発送数2,115通

② 相談業務

内 容 若者しごと倶楽部担当職員による段階に応じたヒアリングと相談を実施した。

実施日時 年末年始を除く毎日
9時～17時

利用者 700名
(男性470名、女性230名)

段階	0	1	2	3	4	5
相談員の対応	・他機関の紹介	・信頼関係の構築 ・自己分析、自己理解	・目標設定	・目標達成に向けた課題の特定	・目標達成のための行動計画	・フォローアップ
相談者の傾向	・心理的に就職活動を行うのが難しい	・自分に何が向いているか分からない	・就きたい職業や方向性がある	・就きたい職業や方向性のために何をすべきかを理解している	・就職に向けての具体的な取り組み(面接を受ける等)をしている	・就職、進路決定

③ キャリアカウンセリングの実施

内 容 個人のキャリア形成、キャリア発達のサポートを行うことを目的とし、若者しごと倶楽部キャリアアドバイザーによるキャリアカウンセリングを実施した。

実施日時 毎月第1・3金曜日 13時～17時（1回1人60分）事前申込制

利用者 35名（男性23名、女性12名）

④ 心理カウンセリングの実施

内 容 心の病から仕事に就けない層が多いことから、臨床心理士による心理カウンセリングの機会を提供し、悩みや課題を一緒に考え、自ら課題を克服できるように促した。

実施日時 原則毎月第4金曜日 10時～17時（1回1人50分）事前申込制

利用者 36名（男性29名、女性7名）



⑤ スキルUP講座の開催

内 容 仕事に就くための具体的なスキルを身につけることを目的に、マナーやコミュニケーション、パソコン講座等を開催した。

実施日・場所・内容・参加者数

実施日	場 所	内 容	参加者数
7月21日	加古川駅南まちづくりセンター	プロから学ぶ、社会人マナー講座	2名
2月26日	加古川駅南まちづくりセンター	知っているのと得をする！！社会人マナー講座	6名
7月9日 ～ 3月18日	加古川市男女共同参画センター	パソコン講座 ・初級Word・Excel編（全6回×2回） ・MOS対策コースWord・Excel編（全12回×1回）	100名

⑥ 就職活動手伝い隊の実施

内 容 実際に活用できる具体的なスキルを身につけるための少人数制のオーダーメイド講座を開催し、就職へ結びつけた。

実施日時 原則毎月第2金曜日 14時～16時 事前申込制

主なテーマ 履歴書について、職務経歴書について、面接について

利用者 21名（男性16名、女性5名）



⑦ 受けてみたいセミナー体験の実施

内 容 登録者のニーズに合わせて、実体験ができるようなメニューを提供し、就職へ結びつけた。

実施日・場所・内容・参加者数

実施日	場 所	内 容	参加者数
8月20日	加古川市男女共同参画センター	採用側の本音&座談会①	1名
10月30日	東播磨生活創造センター「かこむ」	マインドマッピング講座	6名
11月24日	加古川市男女共同参画センター	採用側の本音&座談会②	2名
1月26日	加古川市男女共同参画センター	採用側の本音&座談会③	2名
2月23日	加古川市男女共同参画センター	採用側の本音&座談会④	2名
3月15日	加古川市男女共同参画センター	就活集中講座～履歴書編～	0名
3月16日	加古川市男女共同参画センター	就活集中講座～職務経歴書編～	0名
3月17日	加古川市男女共同参画センター	就活集中講座～面接官のキモチ編～	2名

⑧ ボランティア体験の実施

内 容 いきなり職業体験をするには難しい登録者に対して、様々なイベントにボランティアで参加することで、達成感や一体感を気づく機会とし、働くことへの意欲向上へつなげた。

実施日・場所・内容・参加者数

実施日	場 所	内 容	参加者数
7月21日～26日	かこむ創造フェスタ	展示物監視、館内誘導	2名
9月22日	ひおかトレジャー☆ハンティング	安全確認、参加者誘導	0名
10月17・18日	ふれあい交流大会	障害者チームのサポート	0名
10月28日～11月1日	ボランティアメッセ2009	イベント準備、当日案内	2名
11月20日	アイサポートセンターボランティア	障害者のサポート	0名

⑨ 追跡調査アンケートの実施

内 容 登録者の現状把握と今後の支援内容の検討を目的にアンケート調査を実施した。

実施日 6月10日発送 6月25日回収締切

利用者 182名に発送のうち2名住所不明 回収数46通（回収率25.6%）

2. 男女共同参画センターとの連携事業

① 就職フェアの開催

内 容 男女共同参画センター、ハローワーク加古川、生きがいしごとサポート



センター播磨東との連携による合同面接会及び個別相談会を開催した。

実施日・場所・内容・参加者数

実施日	場 所	内 容	参加者数
7月30日	加古川産業会館ビル3F・4F	就職フェア2009～合同就職面接会と個別相談会～	260名
1月21日	加古川産業会館ビル3F	就職フェア「女性のための就職応援会」	50名

3. 若者しごと倶楽部本部との連携事業

① カードが導くしごと興味発見セミナーの開催

内 容 若者しごと倶楽部本部のキャリアアドバイザーによるイラストカードを活用したセミナーを開催し、自己理解と適職の興味傾向を知ることにより就職に向けての意欲を向上させた。

実施日時 11月26日13時30分～16時30分

利用者 7名（男性6名、女性1名）

3. 他機関との連携事業

① 加古川しごと広場プロジェクト会議の開催

内 容 過去3度、加古川市の就労支援機関との定例会議として「加古川しごと広場連絡会議」を実施してきたが、状況報告の場に過ぎなかったため、発展的に解消し、加古川の労働施策を協働で考えていくプロジェクト会議として実施した。平成22年度も継続して実施していく予定。



実施日時 2月25日16時00分～17時15分

出席者 高田良彦／加古川市商工労政課
 新浜善孝／加古川市行政経営改革推進課
 濱野憲二／加古川商工会議所
 好井正治／兵庫大学キャリア課
 柏木登起／NPO法人シーズ加古川
 大嶋啓史／NPO法人シーズ加古川
 香川憲夫／加古川市行政経営改革推進課
 藤田耕平／加古川市行政経営改革推進課
 副島義憲／兵庫大学学長室
 田中 茂／NPO法人シーズ加古川
 李 貫一／NPO法人シーズ加古川

② ひょうごしごと情報広場との連携事業

内 容 ひょうごしごと情報広場と連携し、滞在化しているニート・ひきこもり状態の若者を掘り起こし、就職への意識啓発を行った。



実施日・場所・内容・参加者数

実施日	場 所	内 容	参加者数
1月16日	加古川産業会館ビル3Fセミナールーム	ニート・ひきこもりからの脱出支援セミナー	42名
2月20日	東播磨生活創造センター「かこむ」他	仕事内容まるわかりバスツアー	9名

③ ニート支援機関ネットワーク会議への参加

内 容 兵庫県しごと支援課が主催するニート・ひきこもりを支援する機関が集まってネットワーク化を図るための会議に参加し、意見交換を行った。

開催日・内容・出席者

	開催日	出席者
第 1 回	7 月 2 日	田中 茂
第 2 回	11 月 16 日	田中 茂・柏木登起
第 3 回	3 月 16 日	柏木登起

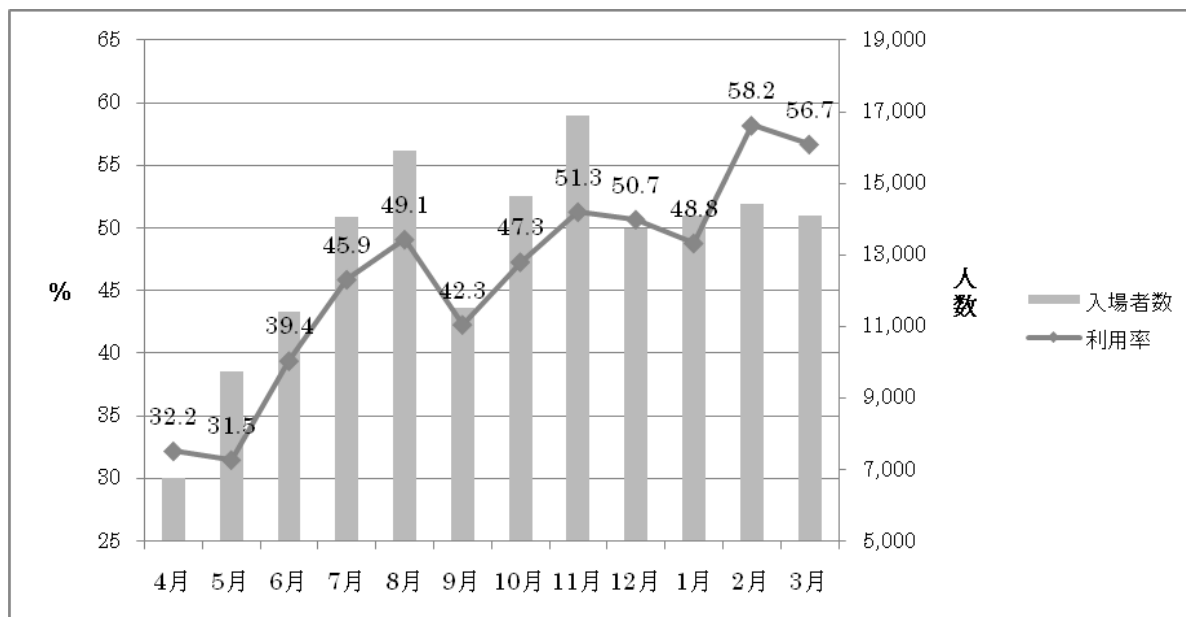
Ⅲ. 公共施設の管理・運営事業

平成21年度の一番大きな事業と言え、東播磨生活創造センター「かこむ」の指定管理事業です。平成20年度の受託事業として運営していた時とは異なり、指定管理者として公共施設の管理という責任が重く、かつ重大な事業を展開することを任せていただきました。

上半期は、施設予約システムの導入等に手が取られ、事業を展開していくというよりは、体制を整備するという事に時間を要しましたが、基盤を確立させることができました。しかし、下半期からは、徐々に東播磨地域に密着した、地元住民に支えられる施設として展開が出来つつあると感じています。利用率も下記の図1に示すように、下半期からは大幅に増加し、それに伴って入場者数も増えつつあります。22年度は指定管理者の2年目として、ソフト面の内容をより充実させていきたいと考えます。

1. 東播磨生活創造センター「かこむ」の運営事業（兵庫県指定管理事業）

図 1 平成 21 年度有料施設の利用率及び入場者数の推移



① 有料施設の利用許可業務

内 容 主に東播磨地域で活動を行う団体に対して、センターの各施設の貸出業務を行った。年間の平均利用率は、49.0%であった。

実施日 月～土：9時～21時、日・祝：9時～17時30分（毎月第3日曜日、12月31日、1月1日を除く）

有料施設 展示ギャラリー、講座研修室、創作工房（料理・工芸）、会議室AB、スタジオAB、音楽スタジオ

利用者 52,790名

② 情報コーナーの運營業務

○ ホームページの運営

内 容 センターの認知度を高め、広くセンターの講座やイベント等を告知するために、ホームページを開設し、随時更新をした。

利用数

項目	件数
アクセス数	27,947件
イベントカレンダーの利用数	130件
有料施設のWEB予約	420件
ホームページ更新回数	480回



○ 図書・資料コーナー、DVD・ビデオコーナー、インターネット・パソコンコーナーの運営

内 容 『情報の受発信基地』を基本コンセプトとし、生涯学習、地域づくり活動等の生活創造活動に関する情報とそれを求める人の行き交う施設となるよう、各コーナーを運営した。

利用数

項目	件数
図書・DVD在庫数	6,760冊
図書コーナー利用者数	1,942名
DVDコーナー利用者数	209名
インターネットコーナー利用者数	2,557名
パソコンコーナー利用者数	1,006名



○ 広報誌「プリュかこむ」の発行

内 容 センターの認知度を高め、広くセンターの講座やイベント等を告知するために、後追い記事ではなく、情報告知の記事やイベントカレンダーに力点を置いた誌面を作成し、隔月で発行した。

発行日 奇数月の15日

発行部数 年間合計25,300部

○ メールマガジンの配信

内 容 身近な携帯電話やパソコンのメールで効率よく講座やイベントの案内を受け取れるようにするため、月2回登録者へメールマガジンを配信した。

発行日 毎月1日・15日

登録者数 349名

③ グループ活動の支援事業

○ 相談業務

内 容 生活創造・地域づくり活動の活性化を目的とし、様々な相談に対応した。件数は平成20年度と比較すると若干少なくなっているものの、徐々に町内会や自治会等からの相談も増えてくるようになり、利用者の幅が広がったことが特徴と言える。

相談件数 109件

○ コーディネート業務

内 容 様々な団体及び人をつなぐ中間的役割を担い、マッチングすることによって、それぞれの活動の活性化を促進した。件数は平成20年度と比較すると少なくなっているが、コーディネートに対応できる職員の人数が大幅に増えたため、幅広いニーズに対応が可能となった。

相談件数 93件

○ グループ活動支援施設の運営

内 容 地域づくり活動を行う団体に対して、各団体の活動を支援するために施設を無料で貸出した。徐々に利用率も向上している。

無料施設 フリースペース、グループ活動ブース、印刷製本室、保育ルーム、情報コーナー、和室

○ 「たばすdeコンサート」の開催

内 容 多目的パフォーマンススペース「たばす」を利用して、主催コンサートを実施し、住民相互の交流の場を提供した。特に11月29日のジャズコンサートと、2月13日の沖縄フェアについては、正式な実行委員会こそ立ち上げなかったが、当法人職員だけでなく、出演バンドとサポーターが中心となってイベントを企画・運営したことは大きな成果であった。

実施日・実施内容・参加者数

	実施日	実施内容	来場者数
第1回	11月21日	かこむ寄席～ほんまもん落語～	150名
第2回	11月29日	第1回かこむジャズフェスティバル	400名
第3回	12月12日	X'mas ファミリー☆コンサート	200名
第4回	2月13日	めんそーれかこむ 沖縄民謡フェア	138名



○ グループ登録制度「かこむ倶楽部」の運営

内 容 グループ登録することにより、施設利用の優遇措置や活動のバックアップ、他の登録団体との交流を図り、一緒に活動を行うことにより、活動の幅を広げる支援を行った。また、本年度より、無料会員登録制度に加えて、新しく有料会員制度（年会費3,000円）を設け、登録団体に対して、活動を支援する様々な付加価値の高いサービス（事務局代行事業）を提供できる体制を整えた。

登録団体数 261団体（内 特別有料会員28団体）

④ 学習機会の提供業務

○ スキルアップセミナーの開催

内 容 生活創造や地域づくり活動をする団体や市民がスキルアップすることを目的に、具体的なスキルを身につけるためのセミナーを開催した。多数のセミナーが定員に達するという状況となったことは、平成20年度の動員に力を割かなければいけなかった状況と比較すると大きな変化であった。



実施日・実施内容・講師・参加者数

実施日	実施内容	講師	参加者数
毎月第2火曜日	花と緑の教室	兵庫県立フラワーセンター	509名
4月18日	マインドマッピング	田中 茂 (NPO法人シーズ加古川)	63名
4月25日他4日	兵庫大学サテライト講座	兵庫大学教授5名	128名
7月5日	助成金セミナー	山田泰久 (日本財団)	28名
8月8日	乾電池をつくろう	(株)東芝との協働事業	41名
9月12日	ミーティングファシリテーター入門講座	ちよんせいこ (人まちファシリテーション工房)	17名
10月11日	いなみの学園陶芸絵付教室	いなみの学園陶芸部との協働事業	15名
1月21日	企画の立て方講座	江渕桂子 (大阪ボランティア協会)	35名
1月28日	広報セミナー	井上満 (NPO法人しゃらく)	58名
2月14日他3日	トータル・ライフ・マネー塾	増田順哉 (保険コンサルタント)	199名
3月14日他1日	ビジネスセミナー	中村文子 (公認会計士)	34名
3月28日	映像撮影講座	江村直樹 (BAN-BANテレビ株)	10名

○ 参加型自主企画セミナーの開催

内 容 グループ登録制度「かこむ倶楽部」の登録団体からの公募により、団体独自で企画・準備・運営を行う参加型のセミナー「あなたが創る★かこむ講座」を開催し、団体のスキルアップを図った。



実施日・実施内容・講師・参加者数

実施日	実施内容	団体名	参加者数
6月10日	組み木と糸鋸で作る花ごま	あけぼの会	17名
6月20日	似顔絵キャンドルを作ろう!	アンサンブル・ミュージック	19名
6月22日	ママとベビーキッズの虫歯予防&歯みがき講座	おちびのおてて	82名
6月25日	虫除けスプレーとハーブティーを楽しもう	Bejalan	19名
7月1日	川柳はじめのはじめ	川柳ニューサロン	24名
7月27日	野菜だけ!!かんたんマクロビオティック料理教室	ビタミンあい	15名
8月18日	ソーラーオルゴールを作ろう	NPO法人環境21の会	55名
8月29日	アイスブレイク講座	ひょうごPWを推進する会	8名
10月6日	家庭で簡単にできるお菓子づくり	加古川友の会	45名
10月31日	スローライフをめざす 自給自足のすすめ	NPO法人Casaメーコッコ	34名
11月13日	地球温暖化防止 広がるケナフの可能性	兵庫ケナフの会	24名
11月24日	地球温暖化防止 森林保全と炭の活用実践例	NPO法人環境21の会	20名
12月3日	地球温暖化防止 自然エネルギーの活用実践活動	東播磨地球温暖化防止活動連絡会	27名
1月30日	折り雛づくり	東ハリマ画廊連絡会	23名

○ 生活創造博「かこむ創造フェスタ2009」の開催

内 容 センターの1周年を記念した総合パフォーマンスの発表会。
日頃施設を利用してくださる登録グループが中心となり、実行委員会形式で開催し、多数の来場者があった。



実施日・実施内容・出演者・参加者数

実施日	実施内容	出演者	参加者数
7月21～25日	アート展示	加古川風の会、川柳ニューサロン他9団体	479名
7月21日	デジカメ写真の上手な撮り方	写遊会	48名
7月22日	簡単に作れる、香りのインテリア「ソープフラワー」	マーガレット	10名
7月23日	綺麗で、不思議で、懐かしい・・・「手作り万華鏡」	NPO法人ぐるーぶ架け橋創合文化村	22名
7月24日	感動にメッセージを添えて…「絵てがみ教室」	めだかの学校	34名
7月25日	しあわせのハリガネ細工「しあわせトンボ」	NPO法人ぐるーぶ架け橋創合文化村	55名
7月25日	音コンサート	ジョイフルゴスペルワーク、音遊会他10団体	819名
7月26日	舞フェスティバル	カイピリーニャ、チームJAM他6団体	744名

⑤ 協働事業の企画・実施

○ 東播磨市民活動フェスタ2009の開催

内 容 平成20年度に引き続き、東播磨3市2町が地域ごとに開催していた市民活動をPRするイベントを「東播磨市民活動フェスタ」として集中させて実施した。今年度は、事前に3市2町の代表者が集まって会議を開き、互いの事業内容に関して意見交換をする中で、交流を深めることができた。



実施日・地域・実施内容・開催場所

実施日	地域	実施内容	開催場所
10月29日～11月1日	加古川市	ボランティアメッセ2009	ニッケパークタウンセンタープラザ
11月3日	稲美町	第7回社協福祉まつり・ボランティアまつり	障害者ふれあいセンター
11月15日	高砂市	みんなの社協フェア2009	文化会館
11月21日	播磨町	第2回させ川はりまの集い	播磨町立蓮池小学校
12月5日	明石市	第4回あかし市民活動見本市	明石市勤労福祉会館

○ いなみ野学園との連携

内 容 兵庫県生きがい創造協会が運営する高齢者大学「いなみ野学園」と連携した事業を実施し、高齢者大学に在籍する方々への当法人の活動のPRを行い、今後の連携へつなげた。

実施日・実施内容・詳細・参加者数

実施日	実施内容	詳細	参加者数
10月6～12日	いなみの学園作陶展	いなみの学園陶芸部の発表会	549名
10月11日	いなみの学園陶芸絵付教室	いなみの学園陶芸部との連携事業	15名
1月30日	いなみ野学園陶芸学科卒業記念作陶展式典	式典でのセレモニーに参加	—
2月19日	いなみ野学園地域活動推進説明会	卒業生への説明会で活動のPR	—

⑥ 自主事業の企画・実施

内 容 東播磨生活創造センター「かこむ」指定管理事業の一環として、生活創造活動や地域づくり活動に関連した下記のような自主事業を実施した。



実施日・実施内容・詳細・参加者数

実施日	実施内容	詳 細	件数
常時	有料コピー及びプリントアウトサービス	有料コピー機の設置	収入計157,740円
常時	かこむ倶楽部特別会員制度	特別会員専用付加サービスの提供	28団体
常時	地元イベントプレイガイド	チケットの代行販売	受付件数13件
常時	事務局代行業務	印刷代行、イベント受付代行など	213件
8月5・6日	調理体験を通じた食育の推進セミナー	キッズ食育フェア2009	40名
12月19日	結婚活動推進サポート事業	婚活イベント～恋勝2009～	31名
1月13日他3日	アロマ講座	アロマセラピーセミナー	25名

IV. 社会企業家の支援並びに職業紹介事業

生きがいごとサポートセンター播磨東を5月より開設し、コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスの活性化を支援する体制を整えられたことは、平成21年度の大きな成果と言えます。加えて、生きがいごとサポートセンターに付随した事業として無料職業紹介事業を開始したことによって、若者しごと倶楽部サテライト播磨運営事業が活気づき、大きな相乗効果をもたらしました。また、NPO法人等の起業・運営相談に対応するスタッフのスキル向上を図ることができた点は当法人にとって大きな財産となったと言えます。しかしながら、スキルの向上を図ることはできたものの、まだ起業・運営に関する専門的な相談に乗れるまでは至っておらず、今後は団体のニーズに合わせたきめ細やかな相談に乗れる体制を整備し、「コミュニティ・ビジネス、ソーシャル・ビジネスの総合サポートセンター」として位置付けられるよう、より具体的なプログラムを確立していくことが必要です。

1. 生きがいごとサポートセンター播磨東の運営事業（兵庫県補助事業）

① 情報提供事業

内 容 ホームページやリーフレット等を活用し、コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスの普及啓発を行った。

実 施 日 年末年始を除く毎日9時～17時

実施内容・利用者数

実施内容	利用者数
ホームページの開設	アクセス数1,485件（9～3月累計）
窓口フロアでの情報提供	来場者数1,242人（5～3月累計）
リーフレットでの情報提供	配布部数1,600部（5～3月累計）

生きサポ通信の発行	発行部数1,940部（9～3月累計）
パソコン及び図書による情報提供	利用者数120人（5～3月累計）

② 相談業務

内 容 コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスに関する立上げの相談や運営に関する相談に対応することで、安定した事業展開ができるよう促した。

実施日時 年末年始を除く毎日9時～17時

実施内容・利用者数

実施内容	利用者数	成果
起業相談	127件（5～3月累計）	起業団体数6団体
運営相談	252件（5～3月累計）	雇用創出数10人

③ コミュニティ・ビジネスゼミナールの開催

内 容 コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスに関する基本的な知識を習得するための入門講座を開催し、コミュニティ・ビジネス等の普及啓発を行った。

実施日・場所・内容・講師・参加者数

実施日	場 所	内 容	講師	参加者数
9月5日	生きがいごとサポートセンター播磨東	コミュニティ・ビジネス入門講座	柏木登起	9名
3月12日	東播磨生活創造センター「かこむ」	社会起業家入門講座-成功例に学ぶコミュニティ・ビジネスのノウハウ	柏木登起	17名

④ 実務講習会の開催

内 容 コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスを行っている事業所に対して、安定した事業展開を図るために、具体的な実務を身につけるためのセミナーを開催した。



実施日・場所・内容・講師・参加者数

実施日	場 所	内 容	講師	参加者数
12月3日	加古川産業会館ビル3F	会計セミナー「公益法人と税」	加古川税務署	20名
12月4日	東播磨生活創造センター「かこむ」	わかりやすいNPO労務セミナー①	石田信隆	10名
12月11日	東播磨生活創造センター「かこむ」	わかりやすいNPO労務セミナー②	石田信隆	10名
2月5日	東播磨生活創造センター「かこむ」	わかりやすいNPO労務セミナー③	石田信隆	4名
2月12日	東播磨生活創造センター「かこむ」	わかりやすいNPO労務セミナー④	石田信隆	5名
3月19日	東播磨生活創造センター「かこむ」	会計セミナー「社会貢献ビジネスいろは講座」	砂畑恵理子	16名

⑤ 無料職業紹介事業

内 容 「人材エージェント方式」を採用し、求職者と求人側の双方からしっかりとしたヒアリングを実施し、マッチング率の高いコーディネートを行った。

実施日時 10月以降の年末年始を除く毎日9時～17時

利 用 者 就職希望新規登録者数 107名 うち就職成立者数 10名

⑥ 「生きがいしごとサポートセンター」合同就職相談会

内 容 求人先と求職者を即応型でマッチングすることを目的に、兵庫県下 6 か所の生きがいしごとサポートセンターが合同で就職フェアを開催した。

実施日時・場所・参加者数

実施日	場 所	参加者数
1月27日	よみうり神戸ホール	250名
1月28日	姫路市市民会館	130名



⑤ NPO法人の雇用状況及び労働環境実態調査

内 容 東・北播磨のNPO法人191に対して、兵庫県に提出された事業報告書及び決算書から数字を読み取り経営状況をデータ分析するとともに、各法人へヒアリングに行き実態調査を実施した。

⑥ 団塊世代の元気推進事業「地域カパワーアップセミナー」の開催

内 容 会社等を定年退職する団塊世代に直接訴えるタイプのセミナーではなく、団塊世代を地域に巻き込もうとする受け入れ団体への普及啓発セミナーを開催した。

実施日・場所・講師・参加者数

実施日	場 所	講師	参加者数
11月27日	東播磨生活創造センター「かこむ」	鍛冶秀郎	8名



2. 生きがいしごとサポートセンターによる就職促進事業（兵庫県委託事業）

内 容 生きがいしごとサポートセンターの無料職業紹介事業を促進させるため、求人開拓員を配置し、コミュニティ・ビジネス起業団体等の求人を開拓し、求職者との就業マッチングをした。

実施期間 10月1日～3月31日

3. コミュニティ・ビジネス等起業団体実態調査（兵庫県委託事業）

内 容 生きがいしごとサポートセンターが起業支援を行ったコミュニティ・ビジネスを行っている団体に対して、事業の継続状況等を把握するためのアンケート調査及びヒアリング調査を実施した。

実施期間 1月20日～3月31日

調査対象 生きがいしごとサポートセンターが起業支援をした主に東・北播磨地域のコミュニティ・ビジネス31事業

■ 組織運営体制

I. 会議

1. 総会

① 平成20年度 第7回 通常総会の開催

- 開催日** 5月31日 16時～17時
- 開催場所** 東播磨生活創造センター「かこむ」会議室A
- 出席者数** 正会員総数17名中、本人出席12名、委任状出席2名
- 議事内容** 平成20年度（第7期）事業報告、決算報告の承認
定款変更
役員の改選
平成21年度（第8期）事業計画、収支予算の決定
平成22年度（第9期）事業計画、収支予算の決定
年会費の変更



2. 理事会

平成21年度は理事会を組織の運営体制に関する具体的な内容を検討する運営理事会と理事だけでなく、監事、相談役、顧問も含めた事業の進捗状況を確認するための全体理事会の2段体制とした。

① 運営理事会の開催

- 開催場所** いずれも法人事務所
- 開催時間** いずれも19時～21時
- 開催日・議事内容**

回	開催日	議事内容
第1回	4月10日	コミュニティ・ビジネス等総合支援事業、ふるさとコミュニティ・ビジネス創出支援事業の受託について
第2回	5月8日	総会及び活動報告会の開催について、個人情報の取扱体制について
第3回	5月22日	ホームページの作成について、緊急雇用創出支援事業の受託について
第4回	7月10日	無料職業紹介事業届出申請について
第5回	8月7日	組織運営体制について、職員研修について
第6回	9月11日	機関誌の発行について、組織運営体制について
第7回	11月25日	緊急雇用創出事業に伴う新規採用について、組織運営体制について
第8回	12月18日	職員の勤務体制について、22年度法人の方向性について、シーズ加古川塾の開催について
第9回	1月12日	平成22年度各事業の取り組みについて、平成22年度職員契約について
第10回	2月8日	平成22年度各事業の取り組みについて、法人車両の購入について
第11回	3月11日	平成22年度各事業の取り組みについて、組織運営体制について

② 全体理事会の開催

開催場所 いずれも東播磨生活創造センター「かこむ」会議室

開催時間 いずれも19時～21時

開催日・議事内容

回	開催日	議事内容
第1回	5月31日	稟議規程の作成について、平成20年度事業報告・決算報告について、平成21・22年度事業計画・収支予算について、定款変更について、役員の変更について
第2回	8月28日	第一四半期の報告、会計処理について、新規職員の採用について
第3回	12月4日	上半期の状況報告、会計処理について、職員体制及び研修体制について
第4回	2月26日	平成22年度行政からの委託事業及び補助事業の申請について

3. マネージャー間ミーティング

原則毎週1回2～3時間程度、マネージャー間でのミーティングを実施し、理念の共有及び各事業の進捗状況の確認を行った。

4. その他の会議

まちづくり支援担当及びしごと支援担当等部署ごとに定期的にミーティングを実施し、職員間の情報共有及び意見交換を行った。

II. 会員

平成21年3月末現在の会員数

正会員	個人	26
	法人・団体	3
賛助会員		27
合計		56

III. 役員

平成21年5月31日の通常総会にて、二見幸一理事、高橋千恵美理事、釜谷和明監事の3名が5月31日をもって任期満了となった。田中茂理事長、香川憲夫副理事長、衣笠仁浩副理事長、神田信弘理事、市位壽宏理事、川端建一郎理事、田代恭也理事、中村義弘理事、増田芳樹理事、堀田照夫監事の10名が6月1日より重任となった。

IV. 組織内研修に関する事項

1. 職員全体研修

開催場所 生きがいしごとサポートセンター播磨東

開催時間 いずれも8時30分～17時30分



開催日・研修内容

回	開催日	研修内容
第1回	6月21日	公益を担う組織としての意識について、仕事について～阪神工業株式会社の事例から学ぶ～
第2回	7月19日	マインドマッピングの使い方、文章の作り方、うまい「ほう・れん・そう」について
第3回	9月20日	サービス研修「私が歩んだ『風土づくり・サービスいちばんの店めざして』の道」
第4回	10月19日	救急応対方法とAEDの使い方、コミュニケーション研修
第5回	11月15日	相談者への応対ロールプレイ、東播磨市民活動フェスタ（高砂会場）視察
第6回	12月20日	平成22年度コンセプト作りのためのワークショップ
第7回	1月17日	株式会社クオリティコンサルティングによる『Plan・Do・See社のメンバーロイヤリティの秘訣』
第8回	2月21日	シーズ加古川の全体的な方向性と22年度の基本理念
第9回	3月21日	22年度4月からの体制及び事業展開について

2. 役員・職員・会員向け勉強会「シーズ加古川塾」

内 容 「10年先のビジョンが描ける法人体制作り」を目指して、1月から役員及び職員、会員向けの勉強会・討論会を開催した。年間10回程度開催していく予定で進めている。



開催場所 東播磨生活創造センター「かこむ」会議室B

開催時間 いずれも18時30分～21時

開催日・講師・テーマ

回	開催日	講 師	テーマ
第1回	1月25日	今田忠氏（市民社会研究所所長）	国家・市場・市民社会①
第2回	3月24日	今田忠氏（市民社会研究所所長）	国家・市場・市民社会②

3. その他の研修

開催日 随時実施

主な内容 求職者への相談対応のためのロールプレイ研修、NPO法人設立・運営相談の応対研修、小規模作業所の新体系サービス移行について等を随時実施した。